



学校法人 立命館

1 「セカンドライフセミナー」 の目的

学校法人立命館では定年退職者を対象に、退職時の事務手続きについて説明を行う「定年退職者事務説明会」を毎年2月に開催していましたが、定年後の期間の長期化や被用者年金制度の一元化等制度の複雑化を踏まえ、2014年度から教職員の生涯生活設計をサポートすることを目的として、「セカンドライフセミナー」を定年退職者事務説明会の前後に開催しています。

2 セミナーの実施内容 (プログラム等)

日 時: 2018年2月17日(土) 9:30 ~ 16:30

会 場: 立命館大学朱雀キャンパス 203教室

対 象 者: 2017年度末定年退職予定者およびその配偶者
定年退職まで10年以内の教職員およびその配偶者

参加人数: 40人

タイムテーブル:

9:00 受付

9:30 開会

9:40 【実習】豊かで明るい退職後のために

【実習】退職後の健康プラン

12:00 休憩

13:00 【講義】公的年金・退職後の医療保険①

13:50 休憩

14:00 【講義】公的年金・退職後の医療保険②

14:40 休憩

14:50 【講義】経済生活のプラン
(経済生活設計表の作成)

16:00 閉会・アンケート記入
公的年金等の個別相談

3 工夫している点

2014年度にセミナーを始めた時は、対象者を定年退職予定者と定年退職まで5年以内の教職員を対象にしておりましたが、定年退職後の準備を早くから計画的に取り組みたいという教職員の要望を受けて、2015年度以降は定年退職まで10年以内の教職員を対象とするようになりました。また定年退職者事務説明会では、教職員の家族が同席するケースも多かったため、セミナーについても家族の参加を認めています。当初は午前中に定年退職者事務説明会を開催し、午後からセミナーを半日で開催するという形式で行っていましたが、セミナーの内容をより充実させるため、定年退職者事務説明会とは別日程にし、終日開催としています。午前中が「生きがい」と「健康」、午後が「公的年金」と「経済生活」という構成ですが、午前のみ、午後のみといった各教職員が興味をもつ部分だけの出席も認めて、幅広い教職員の参加を推奨しています。

4 参加者の反応・アンケート結果

生きがいや健康というテーマにおいては、その重要性を改めて感じる一方で、年金、保険、税金、運用といったテーマでは、年金等の制度そのものが複雑化していることもあり、理解するのに苦労している様子がうかがえました。

学校法人立命館では、退職後を見通した教職員の生涯生活設計づくりをサポートすることを目的として、定年退職まで10年以内の教職員を対象とする「セカンドライフセミナー」を開催しています。

セミナー終了後のアンケートでは、

- ・ 夫婦で受講するのは情報を共有できるので良かった。
- ・ (生きがい・健康について) 何となく想像していたが、改めてグラフ化して自分に何が足りないかが見えて良かった。
- ・ 健康に関する課題を再認識することができた。
- ・ 生きがいを見つける必要性について理解できた。
- ・ 年金制度の詳細が分かり、大変参考になった。
- ・ お金の運用について良く分かった。

など、参考になったという意見が多かった一方、

- ・ 経済プランのボリュームはもう少し多い方が良い。
 - ・ 毎年同じ内容なら、開催会場を変えて巡回してほしい。
 - ・ 説明が「夫と専業主婦」を例にした話が多く、それ以外のモデルへの配慮が必要。
 - ・ 経済プランは若い人向けにも実施した方が良い。
- などの意見もあり、今後の検討課題になりました。



5 今後の課題

学校法人立命館では、現在多様な教職員が働きやすい職場環境を整備し、働きがいのある組織づくりを進めています。今後、教職員のニーズもより多様化してくることが予想されるため、どのように対応していけるのが検討課題となっています。



(学校法人立命館 人事部給与厚生課
課長補佐 長谷川 暁生)